

農地・農業用施設・海岸等
災害復旧事業の復旧工法

2025年版

A4版・本文536頁・定価4,200円（送料・消費税込み）

特　　色

本書は、地方公共団体等が災害復旧事業の国庫補助申請書に添付する査定設計書を作成する際に、これを簡素、かつ迅速に処理するという観点から、参考資料として活用できるように各復旧条項の範囲内で、全国で多用されている工法を標準的な条件において取りまとめ例示したものです。

1. 2025年版の編集方針

- ① 基本構成は変更せず、主として「適用基準等の改正」に伴う改正を実施
 - ・設計基準 農道（R6.3）
 - ・設計基準 ポンプ場（H30.5）
 - ・設計基準 水路工（H26.3）
 - ・設計指針 ため池整備（H27.5）
 - ・設計基準 パイプライン（R3.6）
 - ・計画基準 農地地すべり防止対策（R4.5）
 - ・設計基準 頭首工（R6.3）
 - ・海岸保全施設の技術上の基準・同解説（H30.8）
- ② 中でも「頭首工（小規模固定堰）、コンクリート擁壁工（重力式擁壁、ブロック積擁壁）」の標準寸法・諸元表については、視認性の向上、実際の作業手順を踏まえた構成と現場条件に応じた確実な規格選定に配慮するなど一部改定
- ③ 新たな災害で再度被災する事態が繰り返されないよう、原形復旧とするだけではなく、再度災害の防止・生産性の向上等に向けた取組（改良復旧）に関する新たな通知を追加
- ④ 査定設計書の添付図面等の作成に当たり、デジタル技術を積極的に活用する新たな通知を追加
- ⑤ 近年の会計実地検査における指摘事項（不当事項）を設計・施工等における留意事項として追加
- ⑥ 写真や参考図を近年の事例に見直し、視認性を良くした理解しやすい編集

2. 目次

第1章 災害復旧事業の復旧工法の総論	第4章 ため池
第2章 災害の調査	第5章 頭首工
第1節 一般事項	第6章 水路工
第2節 降雨又は洪水による災害の調査	第7章 農道（農道橋、凍上災含む）
第3節 融雪による災害の調査	第8章 揚水機
第4節 暴風による災害の調査	第9章 農地保全施設
第5節 高潮又は波浪による災害の調査	第10章 海岸及び地すべり防止施設
第6節 地すべりによる災害の調査	第11章 共通事項
第7節 干ばつによる災害の調査	第1節 土工
第8節 地震による災害の調査	第2節 法面保護工
第9節 火山噴火による災害の調査	第3節 基礎工
第10節 落雷による災害の調査	第4節 擁壁工
第11節 凍上による災害の調査	第5節 設計に使用する荷重
第12節 被災写真の作成	第6節 災害復旧事業における留意事項
第13節 デジタル技術の活用	第12章 応急工事
第3章 農地	第13章 設計・施工等における留意事項

3. 発行・申込先

全国農村振興技術連盟

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館内

TEL 03-3434-5407 FAX 03-3578-7176

E-mail : tosyo@n-renmei.jp

全国農村振興技術連盟ホームページ（<https://www.n-renmei.jp>）の注文フォームからご注文ください。

4. 発行予定

令和8年1月下旬予定

5. 定　　価

4,200円（送料・消費税込み）